

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組方針 取組一覧

| 減災のための取組項目(案案) (概ね5年間) | | | 羽越河川国道 | | | | 新潟県 | | | | 新潟地方気象台 | | | |
|-------------------------------------|--|---------|--|--------|--|-------|---|--------|--|-------|--|--------|---|--------|
| 項目 | 事項 | 内容 | 取組方針(R3.5策定) | | 取組状況(実績) | | 取組方針(R3.5策定) | | 取組状況(実績) | | 取組方針(R3.5策定) | | 取組状況(実績) | |
| | | | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 進捗状況 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 進捗状況 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 進捗状況 |
| ①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組 | | | | | | | | | | | | | | |
| ■情報伝達、避難計画に関する取組 | | | | | | | | | | | | | | |
| | ①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信の実施継続(水位、気象情報、カメラ映像、ホットラインなど) | G,H,I,J | ・川の防災情報システムによるスマートフォンを活用した情報発信、プッシュ型洪水予報等の情報発信を継続実施 | 引き続き実施 | 平成29年5月22日よりプッシュ型の洪水予報等の情報発信を開始し、継続実施中 | 実施を継続 | ・県民が自主的に避難行動をとれるように効果的な情報提供手法を検討 | 引き続き実施 | 令和2年7月より新潟県河川防災情報システムにカメラ映像を公開し、継続実施中 | 実施を継続 | ・各種情報提供の継続 ・地域支援チームにより、提供資料の利活用を促進 | 引き続き実施 | ・気象情報・注意報を発生し、現象ごとに警戒期間、注意期間、ピーク時間帯、雨量などの予報最大値を通知 ・気象状況に応じ、自治体に資料提供、情報伝達 ・市町村訪問により、避難判断基準の解説、あわせて、台長による首長訪問を実施し、市町村との連携強化を図る。 | 実施を継続 |
| | ②避難指示等の発令に資する防災行動計画(タイムライン)の検証と改善 | C | ・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など(継続) | 引き続き実施 | 国管理区間のタイムラインは策定済み、今後は検証と改善を行う | 実施を継続 | ・タイムラインを策定していない河川において、関係機関が連携し流域雨量指数を用いた水害危険性の周知に関する取組を実施 | 引き続き実施 | 「避難情報に関するガイドライン」及び「川村地域防災計画」の整合を図るため、水害対応タイムラインをR3.7月に修正 | 実施を継続 | 北陸地整・県・市・村と共同し、整備・改善を支援(継続) | 引き続き実施 | | 実施を継続 |
| | ③想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋倒壊等浸水想定区域の公表 | D,E,F | | | | | ・想定浸水区域内戸数が200戸以上の河川では、浸水想定区域図を順次策定していく | 順次実施 | 荒川(H30年6月告示)乙大日川・鳥川・堀川・大石川(R3年12月告示) | 実施を継続 | | | | |
| | ④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討 | D,E,F,K | | | | | ・想定浸水区域内戸数が200戸以上の河川では、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域図を順次策定していく | 順次実施 | 荒川(H30年6月告示)乙大日川・鳥川・堀川・大石川(R3年12月告示) | 実施を継続 | | | | |
| | ⑤参加市・村による広域避難計画の策定及び支援 | D,E | ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援(継続) | 引き続き実施 | 令和2年1月27日に浸水想定区域図を公示・公表 | 実施を継続 | ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・市町村間の調整や運営上の課題への支援(継続) | 引き続き実施 | 平成30年6月29日及び令和3年12月24日に浸水想定区域図を公示 | 実施を継続 | ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援(継続) | 引き続き実施 | 関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施。 | 実施を継続 |
| | ⑥広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの周知・活用促進 | D,E,F | ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進(継続) | 引き続き実施 | 浸水想定区域図のパンフレットを一部見直し(避難勧告の廃止等) | 実施を継続 | | | | | | | | |
| | ⑦水位予測の検討及び精度の向上 | B | | | | | 流域雨量指数(洪水予報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討 | 引き続き実施 | 減災対策協議会にて情報共有 | 実施を継続 | | | | |
| | ⑧「危険度の色分け表示」や「警戒級の可能性」、「危険度分布」等による気象情報発信 | J | | | | | | | | | 「危険度の色分け表示」や「警戒級の可能性」、「危険度分布」等による気象情報発信 ・地域支援チームにより、提供資料の利活用を促進 | 引き続き実施 | 「R04.6」キキクル(危険度分布)の改善、警戒レベル4相当の紫への一本化、警戒レベル5相当の黒の新設 「R05.2」気象庁ホームページにおける水害リスクラインと洪水キキクルの統合表示 | 引き続き実施 |
| | ⑨流域雨量指数(洪水予報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討 | B | | | | | 流域雨量指数(洪水予報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討 | 引き続き実施 | 減災対策協議会にて情報共有 | 実施を継続 | 流域雨量指数(洪水予報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討 | 引き続き実施 | 「洪水キキクル(洪水予報の危険度分布)活用」を地域防災計画の改定支援を適宜実施。 | 実施を継続 |
| | ⑩円滑な避難活動や水防活動を支えるため、簡易水位計(危機管理型水位計含む)等による適切な観測や維持管理の継続 | L,J | ・簡易水位計、河川監視カメラによる観測及び維持管理を実施 | 引き続き実施 | 観測及び維持管理を実施中 | 実施を継続 | ・簡易水位計、河川監視カメラによる観測及び維持管理を実施 | 引き続き実施 | 観測及び維持管理を実施中 | 実施を継続 | | | | |
| ■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 | | | | | | | | | | | | | | |
| | ①自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 | A | ・重要水防箇所等の共同点検を実施(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】荒川合同巡回を実施。 | 実施を継続 | ・出水期前に自治会や地域住民と重要水防箇所の共同点検を実施(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】荒川合同巡回に参加。 | 実施を継続 | | | | |
| | ②小中学校等における水災害教育の実施 | A | ・市村の要請により、出前講座等を積極的に実施(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】出前講座を実施。 | 実施を継続 | ・新潟県防災教育プログラム(水災害編)を作成済み。 ・市村の要請により、出前講座等を積極的に実施(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】市村より出前講座の要請はなかった。 | 実施を継続 | ・教育委員会と連携し、効果的な対応を検討する。(継続) | 引き続き実施 | 関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施。 | 実施を継続 |
| | ③出前講座等を活用し、水防災に関する説明会を開催 | A | ・市村の要請により、出前講座等を積極的に実施(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】市村より出前講座の要請はなかった。 | 実施を継続 | ・市村の要請により、出前講座等を積極的に実施(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】市村より出前講座の要請はなかった。 | 実施を継続 | ・関係機関と連携し、効果的な対応を検討する。(継続) | 引き続き実施 | 関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施。 | 実施を継続 |
| | ④まちごとハザードマップを整備 | D,F,I | ・市村が作成するまちごとハザードマップを整備(継続) | 引き続き実施 | 【実績なし】 | | ・想定浸水区域内戸数が200戸以上の河川では、浸水想定区域図を順次策定していく | 引き続き実施 | 荒川(H30年6月告示)乙大日川・鳥川・堀川・大石川(R3年12月告示) | 実施を継続 | | | | |
| | ⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 | H | 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布(継続) | 引き続き実施 | 事務所WEBサイトに減災対策協議会の取組について掲載 | 実施を継続 | ・住民自らの判断で避難行動をとることができるように理解しやすい情報を提供 | 引き続き実施 | 一般住民向けに洪水時の避難に役立つ情報を新潟県のWebサイトに掲載 | 実施を継続 | 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.26】洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施 | 実施を継続 |
| | ⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実 | K | | | | | | | | | | | | |
| ②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組 | | | | | | | | | | | | | | |
| ■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組 | | | | | | | | | | | | | | |
| | ①自治会等への連絡体制の確保と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施 | M | ・水防連絡会にて連絡体制の確保を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続) | 引き続き実施 | 【R4.4.26】直轄管理区間の洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施 | 実施を継続 | ・水防連絡会にて連絡体制の確保を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続) | 引き続き実施 | 【R4.4.26】直轄管理区間の洪水対応演習(情報伝達訓練)に参加 | 実施を継続 | ・情報伝達訓練への支援(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.26】支援要請実績はなかったが、関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施。 | 実施を継続 |
| | ②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡回の実施 | U,L,M | ・重要水防箇所等の合同巡回を実施(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】荒川合同巡回を実施。 | 実施を継続 | ・重要水防箇所等の合同巡回を実施(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】荒川合同巡回に参加。 | 実施を継続 | | | | |
| | ③県北地域が一丸となり、毎年、関係機関が連携した水防訓練等を実施 | O,P | ・水防管理団体が行う訓練への参加(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】荒川水防訓練を実施。 | 実施を継続 | ・水防管理団体が行う訓練への参加(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】荒川合同巡回に参加。 | 実施を継続 | ・関係機関等の要請により、訓練への支援(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.26】支援要請実績はなかったが、関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施。 | 実施を継続 |
| | ④水防活動の担い手となる水防団体の募集・指定を促進 | N,P | | | | | | | | | | | | |
| | ⑤大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施 | Q | ・復旧活動の拠点等配置計画を検討(継続) | 順次実施 | 検討中 | 実施を継続 | ・復旧活動の拠点等配置計画を検討(継続) | 順次実施 | 検討中 | 実施を継続 | | | | |
| | ⑥新技術を活用した水防資機材の検討及び配備 | O,Q | ・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡回を実施 ・新技術(水防ポンプ)を活用した資機材等の検討・配備(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】荒川合同巡回を実施。 | 実施を継続 | ・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡回を実施(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】荒川合同巡回に参加。 | 実施を継続 | | | | |
| ■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組 | | | | | | | | | | | | | | |
| | ①要配慮者等の迅速な避難に向けた取組の充実(避難確保計画の作成支援、地域包括支援センターへのハザードマップの提示や防災関連のパンフレット設置等) | K | ・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行うおとする際の技術的な助言を行う(継続) | 引き続き実施 | | 実施を継続 | ・要配慮者利用施設からの助言要請等がなかった | | | | | | | |
| ③社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化 | | | | | | | | | | | | | | |
| ■救護・救助活動の効率化に関する取組 | | | | | | | | | | | | | | |
| | ①大規模災害時の救護・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施 | E,S | ・広域支援拠点等の検討支援(継続) | 順次実施 | ・R3年度に大規模水害を想定した荒川排水計画(案)策定 | 実施を継続 | ・広域支援拠点等の検討支援(継続) | 順次実施 | 検討中 | 実施を継続 | | | | |
| ■排水訓練の実施等 | | | | | | | | | | | | | | |
| | ①排水ポンプ車の出動要請の連絡訓練の実施 | R | ・毎年、出水期前に県・市・村と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。(継続) | 引き続き実施 | ・排水ポンプ車を含む災害対策機械の要請方法について共有 | 実施を継続 | ・連絡体制の確認(継続) | 引き続き実施 | 排水ポンプ車想定箇所及び連絡体制を確認 | 実施を継続 | | | | |
| | ②関係機関が連携した排水訓練の実施 | S | ・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加(継続) | 引き続き実施 | ・実践的な操作訓練等の実施について検討 ・他機関への訓練参加実績無し | 実施を継続 | ・排水ポンプ車の実働訓練を実施(継続) | 引き続き実施 | 排水ポンプ車の実働訓練の実施を検討 | 実施を継続 | | | | |

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組方針 取組一覧

| 項目 | 事項 | 内容 | 課題の対応 | 村上市 | | | | 関川村 | | | | 胎内市 | | | |
|-----------------------|--|------------|---|--------------|--|----------|---|--------------|---|----------|---|--------------|---|----------|------|
| | | | | 取組方針(R3.5策定) | | 取組状況(実績) | | 取組方針(R3.5策定) | | 取組状況(実績) | | 取組方針(R3.5策定) | | 取組状況(実績) | |
| | | | | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 進捗状況 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 進捗状況 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 進捗状況 |
| ①「安全な場所への確実な避難」に向けた、F | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■情報伝達、避難計画等に関する事項 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信の実施継続(水位、気象情報、カメラ映像、ホットラインなど) | G, H, I, J | 防災メール等について、更新の普及のため周知・広報を実施する。(継続) | 引き続き実施 | HPや防災出前講座で防災メール及び村上市公式ラインの普及について周知している。 | 実施を継続 | 緊急通報メール等について、更新の普及のため周知・広報を実施する。(継続) | 引き続き実施 | 広報誌による防災メール登録の促進(通年) R5年1月時点登録者総数1206名 | 実施を継続 | 緊急通報メール等について、更新の普及のため周知・広報を実施する。(継続) | 引き続き実施 | 防災ガイドブック、HP等で周知・広報を行っており、2月1日現在、3,527人の登録者あり(昨年同時期より95人増) | 継続 | |
| | ②避難指示等の発令に備えた防災行動計画(タイムライン)の検証と改善 | C | ・出水後におけるタイムラインの検証と改善(継続) | 引き続き実施 | 出水後におけるタイムラインの検証 | 実施を継続 | ・出水後におけるタイムラインの検証と改善(継続) | 引き続き実施 | 6月、上関水位観測所地点のタイムライン(案)作成 | 実施を継続 | ・出水後におけるタイムラインの検証と改善 | 引き続き実施 | 現在、未実施である。次年度以降、関係機関にも確認しながら検証していきたい。 | 継続 | |
| | ③想定最大規模も含めた破損点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表 | D, E, F | | | | | | | | | | | | | |
| | ④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討 | D, E, F, K | ・浸水想定区域図等の公表後に立ち退き避難が必要な区域及び避難方法を検討する。(継続) | 順次実施 | 浸水想定区域図等の公表後に立ち退き避難が必要な区域があった場合は避難方法を検討する。 | 順次実施 | ・浸水想定区域図等の公表後に立ち退き避難が必要な区域及び避難方法を検討する。(継続) | 順次実施 | 10月、関川村防災訓練で水害想定区域の全戸避難訓練を計画していたところ8月豪雨災害を受け中止となる。 | 実施を継続 | ・浸水想定区域図等の公表後に立ち退き避難が必要な区域及び避難方法を検討する。(継続) | 順次実施 | 防災ガイドブックやHP等で浸水想定区域を周知し、避難行動について、12月に家庭内掲示型のマイタイムラインを全戸配布。 | 順次実施 | |
| | ⑤参加市・村による広域避難計画の策定及び支援 | D, E | ・北陸地整、県、関係市町村と連携し、想定最大規模洪水に対する広域避難の現実性について検討する。(継続) | 引き続き実施 | 【実績なし】 | 引き続き実施 | | | | | | | | | |
| | ⑥広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの周知・活用促進 | D, E, F | ・ハザードマップの普及啓発・活用を図る。 | 引き続き実施 | 令和4年5月に防災ハンドブックを全世帯に配布。防災出前講座でもハンドブックを利用した講座を実施している。 | 実施を継続 | ・ハザードマップの普及啓発・活用を図る。 | 引き続き実施 | 出水期前及び通年、各集落に対し、ハザードマップの普及・活用に関する説明会を開催(避難先は広域でなく村内指定避難所を想定) | 実施を継続 | ・ハザードマップの普及啓発・活用を図る。 | 引き続き実施 | 自主防災組織へ浸水想定区域など防災ガイドブック活用について周知。 | 引き続き実施 | |
| | ⑦水位予測の検討及び精度の向上 | B | | | | | | | | | | | | | |
| | ⑧「危険度の色分け表示」や「警報級の可能性」、「危険度分布」等による気象情報発信 | J | | | | | | | | | | | | | |
| | ⑨流域雨量指数(洪水予報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討 | B | 流域雨量指数(洪水予報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討 | 引き続き実施 | 【実績なし】 | | | | | | | | | | |
| | ⑩円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計(危機管理型水位計含む)等による適切な観測や維持管理の継続 | L, J | | | | | | | | | | | | | |
| ■平時から住民等への周知・教育・訓練 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ①自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所での共同点検を実施 | A | ・出水期前に自治会や地域住民と重要水防箇所での共同点検を実施(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】荒川合同巡回を実施。 | 実施を継続 | ・出水期前に自治会や地域住民と重要水防箇所での共同点検を実施(継続) | 引き続き実施 | 自治会、住民との共同点検を実施 | 実施を継続 | ・出水期前に自治会や地域住民と重要水防箇所での共同点検を実施(継続) | 引き続き実施 | 未実施。今後、関係地域と実施していく。 | 継続 | |
| | ②小中学校等における水防教育を実施 | A | 地域が連携した実践的な防災教育を実施(継続) | 引き続き実施 | 学校及び地域団体等への防災出前講座を実施 | 実施を継続 | 地域が連携した実践的な防災教育を実施(継続) | 引き続き実施 | 関川中学校において4/4に作成などの防災教育が学校計画で8月に行われている。【自治体としての教育支援は未実施】 | 実施を継続 | 地域が連携した実践的な防災教育を実施(継続) | 引き続き実施 | 小学校の洪水・土砂災害等の防災学習を実施。(黒川小学校) | 引き続き実施 | |
| | ③出前講座等を活用し、水防等に関する説明会を開催 | A | ・改定後のハザードマップ周知の際や自主防災組織に対する各種説明会等を利用して水防災害に関する説明会を実施 | 引き続き実施 | 令和4年5月に防災ハンドブックを全世帯に配布。防災出前講座でもハンドブックを利用した講座を実施している。 | 実施を継続 | ・改定後のハザードマップ周知の際や自主防災組織に対する各種説明会等を利用して水防災害に関する説明会を実施 | 引き続き実施 | 各集落のニーズに応じて防災講話(出前講座)逐次実施(通年・今年度出水期までに4集落で開催) | 実施を継続 | ・改定後のハザードマップ周知の際や自主防災組織に対する各種説明会等を利用して水防災害に関する説明会を実施 | 引き続き実施 | 自主防災組織へ浸水想定区域など防災ガイドブック活用について周知。また、避難行動についても説明。 | 引き続き実施 | |
| | ④まるごとまちごとハザードマップを策定 | D, F, I | まるごとまちごとハザードマップを策定(継続) | 引き続き実施 | 【実績なし】 | 実施を継続 | まるごとまちごとハザードマップを策定(継続) | 引き続き実施 | 検討中【今年度実績なし】 | 実施を継続 | まるごとまちごとハザードマップを策定(継続) | 引き続き実施 | | | |
| | ⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 | H | 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布(継続) | 引き続き実施 | 防災ハンドブックを全戸に配布。市報の6/1号で避難方法、防災ハンドブックの周知を行った。 | 実施を継続 | 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布(継続) | 引き続き実施 | 復興慰問券、水害殉難者慰問券を自然災害伝承碑として登録掲載(9月29日) 1月広報誌にて住民周知 | 実施を継続 | 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布(継続) | 引き続き実施 | 有事の際、直ちに避難行動がとれるよう、12月に家庭内に常時掲示型のマイタイムラインを作成・全戸配布。 | 引き続き実施 | |
| | ⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実 | K | ・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施。実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施(継続) | 引き続き実施 | HPで広報・啓発や各区分長へ啓発文書の配布を行った。 | 実施を継続 | ・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施。実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施(継続) | 引き続き実施 | 広報誌による各地区の防災活動の事例紹介(通年) 今年度、防災士×2名を育成 | 実施を継続 | ・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施。実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施(継続) | 引き続き実施 | 自主防災組織の訓練に常時参加し、防災講話等で重要性について説明。 | 引き続き実施 | |
| ②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■水防活動の効率化及び水防体制 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ①水防団等への連絡体制の確保と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施 | M | ・水防連絡会にて連絡体制の確保を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続) | 引き続き実施 | 【R4.4.26】洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施 | 実施を継続 | ・水防連絡会にて連絡体制の確保を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続) | 引き続き実施 | 水防連絡会にて連絡体制の確保 | 実施を継続 | ・水防連絡会にて連絡体制の確保を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続) | 引き続き実施 | 水防連絡会にて連絡体制の確保 | 引き続き実施 | |
| | ②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所での合同巡回の実施 | U, L, M | ・重要水防箇所等の合同巡回を実施(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】荒川合同巡回を実施。 | 実施を継続 | ・重要水防箇所等の合同巡回を実施(継続) | 引き続き実施 | 合同巡回への参加 | 実施を継続 | ・重要水防箇所等の合同巡回を実施(継続) | 引き続き実施 | 消防団(水防団)と連携した合同巡回を実施。 | 引き続き実施 | |
| | ③県北地域が一丸となり、毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 | O, P | ・水防管理団が行う訓練への参加(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】荒川水防訓練を実施。 | 実施を継続 | ・水防管理団が行う訓練への参加(継続) | 引き続き実施 | 6月、水防訓練(村上市、胎内市、関川村)に参加 | 実施を継続 | ・水防管理団が行う訓練への参加(継続) | 引き続き実施 | 荒川水防訓練に参加。 | 引き続き実施 | |
| | ④水防活動の担い手となる水防団員の募集・指定を促進 | N, P | ・水防活動の担い手となる水防団員の募集・指定を促進(継続) | 引き続き実施 | 市報、HP、ポスター等で募集の呼びかけを行っている。 | 実施を継続 | ・水防活動の担い手となる水防団員の募集を促進する。(継続) | 引き続き実施 | 水防団員(消防団員)の募集実施中(通年) | 実施を継続 | ・水防活動の担い手となる水防団員の募集を促進する。(継続) | 引き続き実施 | 市報、HP、消防団通信等で消防団員の募集について広報している。 | 引き続き実施 | |
| | ⑤大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施 | Q | | | | | | | | | | | | | |
| | ⑥新技術を活用した水防資機材の検討及び配備 | O, Q | ・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡回を実施(継続) | 引き続き実施 | 【R4.6.12】荒川合同巡回を実施。 | 実施を継続 | ・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡回を実施(継続) | 引き続き実施 | 合同巡回への参加 | 実施を継続 | ・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡回を実施(継続) | 引き続き実施 | 水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡回を実施 | 引き続き実施 | |
| ■要配慮者利用施設や大規模工場等 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ①要配慮者等の迅速な避難に向けた取組の充実(避難確保計画の作成支援、地域包括支援センターへのハザードマップの掲示や防災関連のパンフレット設置等) | K | ・要配慮者施設における避難確保計画の策定を支援する。地域包括支援センターへのハザードマップの掲示や防災関連のパンフレット設置等の在宅要配慮者向けの対策を推進する。 | 順次実施 | R5に避難計画策定の講習会を開催予定。 | 実施を継続 | ・要配慮者施設における避難確保計画の策定を支援する。地域包括支援センターへのハザードマップの掲示や防災関連のパンフレット設置等の在宅要配慮者向けの対策を推進する。 | 順次実施 | 要配慮者施設における避難確保計画策定を推進中(今年度末まで策定・村への提出を目標、R5年1月現在進捗状況は16施設中8施設が提出済み) | 実施を継続 | ・避難確保計画策定済みの要配慮者利用施設への継続的な支援(定期的な計画更新・訓練支援等) 地域包括支援センターへのハザードマップの掲示や防災関連のパンフレット設置等の在宅要配慮者向けの対策を推進 | 順次実施 | 要請により築地小学校保護者向けに水害における避難について防災講話を実施。また、要配慮者(在宅用配慮者等)の個別避難計画作成に向けた取組を開始。 | 引き続き実施 | |
| ③社会経済活動を取り戻すための排水活動 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■救援・救済活動の効率化に関する取組 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ①大規模災害時の救援・救済活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施 | E, S | ・広域支援拠点等の配置等を検討(継続) | 順次実施 | 【実績なし】 | 実施を継続 | ・広域支援拠点等の配置等を検討(継続) | 順次実施 | 検討中【今年度実績なし】 | 実施を継続 | ・広域支援拠点等の配置等を検討(継続) | 順次実施 | 今後検討していく。 | 実施を継続 | |
| ■排水訓練の実施等 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ①排水ポンプ車の出動要請の連絡訓練の実施 | R | ・連絡体制の確保(継続) | 引き続き実施 | ・排水ポンプ車を含む災害対策機械の要請方法について共有 | 実施を継続 | ・連絡体制の確保(継続) | 引き続き実施 | 連絡体制の確保継続中 一上関水位観測所地点の4/45に反映【今年度8月豪雨に伴う出動要請実績あり】 | 実施を継続 | ・連絡体制の確保(継続) | 引き続き実施 | 連絡体制を確認していく。 | 実施を継続 | |
| | ②関係機関が連携した排水実働訓練の実施 | S | ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討(継続) | 引き続き実施 | 【実績なし】 | 実施を継続 | ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討(継続) | 引き続き実施 | 【今年度訓練実績なし】 | 実施を継続 | ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討(継続) | 引き続き実施 | 河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討 | 実施を継続 | |

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組方針 取組一覧

| 減災のための取組項目(案案) (概ね5年間) | | | | 荒川水力発電 | | | | 赤芝水力発電 | | | | 東北電力 | | | |
|---------------------------|----|--|------------|---|--------|---|------------|---|--------|-------------------------------------|--------|---|--------|--|--------------|
| 項目 | 事項 | 内容 | 課題の対応 | 取組方針(R3.5策定) | | 取組状況(実績) | | 取組方針(R3.5策定) | | 取組状況(実績) | | 取組方針(R3.5策定) | | 取組状況(実績) | |
| | | | | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 進捗状況 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 進捗状況 | 実施内容 | 時期 | 実施内容 | 進捗状況 |
| ①「安全な場所への確実な避難」に向けた、F | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■情報伝達、避難計画等に関する事項 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ①リアルタイムの情報提供やブッシュ型情報の発信の実施継続(水位、気象情報、カメラ映像、ホットラインなど) | G,H I,J | ダム放流にサイレンスビーカー等による周知を実施する。 (継続) | 引き続き実施 | ダム放流にサイレンスビーカー等による周知を実施する。 (継続) | 引き続き実施 | ダム放流にサイレンスビーカー等による周知を実施する。 (継続) | 引き続き実施 | ダム放流にサイレンスビーカー等による周知を実施している。 | 引き続き実施 | ダム放流にサイレンスビーカー等による周知を実施する。 (継続) | 引き続き実施 | ダム放流にサイレンスビーカー等による周知を実施している。 | 引き続き実施 |
| | | ②避難指示等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の検証と改善 | C | | | | | | | | | | | | |
| | | ③想定最大規模も含めた破損点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表 | D,E F | | | | | | | | | | | | |
| | | ④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討 | D,E F,K | | | | | | | | | | | | |
| | | ⑤参加市・村による広域避難計画の策定及び支援 | D,E | | | | | | | | | | | | |
| | | ⑥広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの周知・活用促進 | D,E F | | | | | | | | | | | | |
| | | ⑦水位予測の検討及び精度の向上 | B | データの提供提供(継続) | 引き続き実施 | 令和4年度中に岩船ダムデータの提供提供予定(毎10分) | 2月中に伝送試験予定 | データの提供提供(継続) | 引き続き実施 | [R5.1現在]検討中 | 引き続き実施 | 鹿の黒ダムデータの提供提供(毎正時)(継続) | 引き続き実施 | 鹿の黒ダムデータお毎正時提供提供している。 | 引き続き実施 |
| | | ⑧「危険度の色分け表示」や「警報級の可能性」、「危険度分布」等による気象情報発信 | J | | | | | | | | | | | | |
| | | ⑨流域雨量指数(洪水予報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討 | B | | | | | | | | | | | | |
| | | ⑩円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計(危機管理型水位計含む)等による適切な観測や維持管理の継続 | L,J | | | | | | | | | | | | |
| ■平時から住民等への周知・教育・訓練 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ①自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 | A | | | | | | | | | | | | |
| | | ②小中学校等における水災害教育の実施 | A | | | | | | | | | | | | |
| | | ③出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催 | A | | | | | | | | | | | | |
| | | ④まごごとまちごとハザードマップを整備 | D,F I | | | | | | | | | | | | |
| | | ⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 | H | 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布(継続) | 引き続き実施 | 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布(継続) | 引き続き実施 | 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布(継続) | 引き続き実施 | [R4.7.1]ダム放流における水難防止に向け、関川村広報誌への掲載。 | 引き続き実施 | 関川村広報誌の掲載、水難防止チラシの配布により注意喚起を実施(継続) | 引き続き実施 | [R4.7.6]水難防止のチラシおよびポスター配布。 [R4.7.6]ダム放流における水難防止を図るため、関川村広報誌に掲載。 | 引き続き実施 |
| | | ⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実 | K | | | | | | | | | | | | |
| ②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■水防活動の効率化及び水防体制 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施 | M | 水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続) | 引き続き実施 | 水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続) | 引き続き実施 | 水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続) | 引き続き実施 | [R4.4.26]洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施 | 引き続き実施 | 水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。(継続) | 引き続き実施 | [R4.4.26]洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施 | 引き続き実施 |
| | | ②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同点検の実施 | U,L M | | | | | | | | | | | | |
| | | ③県北地域が一丸となり、毎年、関係機関が連携した水防訓練等を実施 | O,P | 水防管理団体が行う訓練への参加(継続) | 引き続き実施 | 水防管理団体が行う訓練への参加(継続) | 引き続き実施 | 水防管理団体が行う訓練への参加(継続) | 引き続き実施 | [R4.6.12]荒川水防訓練(実践的な訓練)を実施。 | 引き続き実施 | 水防管理団体が行う訓練への参加(継続) | 引き続き実施 | R4年度は不参加。 | 引き続き訓練に参加する。 |
| | | ④水防活動の担い手となる水防団体の募集・指定を促進 | N,P | | | | | | | | | | | | |
| | | ⑤大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施 | Q | | | | | | | | | | | | |
| | | ⑥新技術を活用した水防資機材の検討及び配備 | O,Q | | | | | | | | | | | | |
| ■要配慮者利用施設や大規模工場等 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ①要配慮者等の迅速な避難に向けた取組の充実(避難確保計画の作成支援、地域包括支援センターへのハザードマップの提示や防災関連のパンフレット設置等) | K | | | | | | | | | | | | |
| ③社会経済活動を取り戻すための排水活動 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■救援・救助活動の効率化に関する取組 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施 | E,S | | | | | | | | | | | | |
| ■排水訓練の実施等 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ①排水ポンプ車の出動要請の連絡訓練の実施 | R | | | | | | | | | | | | |
| | | ②関係機関が連携した排水実働訓練の実施 | S | | | | | | | | | | | | |

R4 減災目標を達成するための取組状況概要

資料2

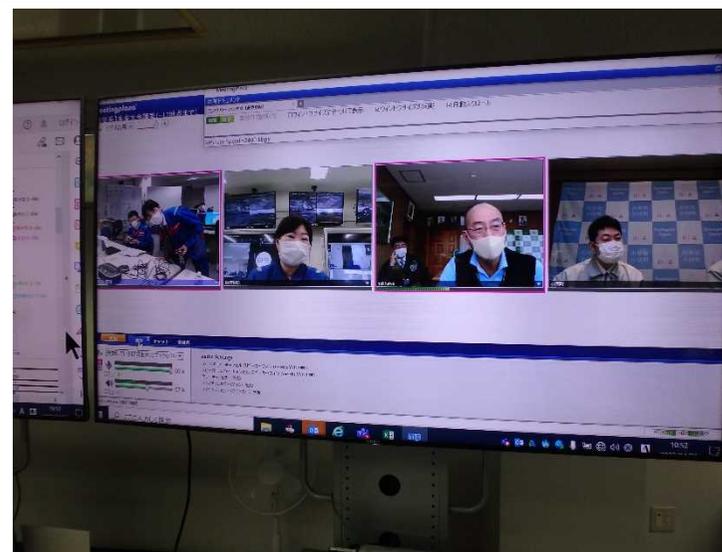
| 番号 | 内 容 | 実施主体 |
|----|----------------------------------|-----------------------------|
| ① | 実践的な情報伝達訓練の実施 | 羽越河川国道、新潟県、村上市、関川村、胎内市、電力3社 |
| ② | 関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 | 羽越河川国道、新潟県、村上市、関川村、胎内市 |
| ③ | 洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施 | 羽越河川国道、新潟県、村上市、関川村、胎内市 |
| ④ | 小中学校等における水災害教育を実施 | 羽越河川国道 |
| ⑤ | 安全な場所への確実な避難に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組 | 村上市 |
| ⑥ | 地域住民等に対する防災講話、防災説明会 | 関川村総務課【防災】 |
| ⑦ | 要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組 | 胎内市 |
| ⑧ | 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 | 胎内市 |
| ⑨ | 効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 | 荒川水力電気(株) |
| ⑩ | 効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 | 赤芝水力発電(株) |
| ⑪ | 効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 | 東北電力(株) |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | 実践的な情報伝達訓練の実施 |
| 内 容 | 【R4.4.26】洪水対応演習(情報伝達訓練)の実施 |
| 実施主体 | 北陸地方整備局羽越河川国道事務所、新潟県村上地域振興局地域整備部 村上市、関川村、胎内市、東北電力、荒川水力電気、赤芝水力発電 |

洪水時の防災体制を確認することを目的に、水防連絡会構成機関と合同で各種情報伝達や被災時の災害復旧までの流れ等について、実践的な演習を実施。

【実施概要】

- ・日 時：令和4年4月26日 9:00～17:00
- ・参加者：羽越河川国道事務所、新潟県、村上市、村上市消防団、関川村、関川村消防団、胎内市
- ・内 容：① 関係機関へ水防警報、洪水予報等の情報伝達、大石ダム・横川ダムの操作確認、情報伝達
② Webによる情報共有
③ 排水ポンプ車要請訓練
④ 被災時の災害復旧までの流れ等の確認



洪水対応演習の実施状況

| | |
|------|--|
| 取組項目 | 関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 |
| 内 容 | 【R4.6.12】荒川水防訓練の実施 |
| 実施主体 | 北陸地方整備局羽越河川国道事務所、新潟県村上市地域振興局地域整備部 村上市、関川村、胎内市 |

出水期を前に、水防経験の浅い若手消防団員を対象に水防工法の基礎を習得し、水防作業能力の向上を図ることを目的とした実践型水防訓練を実施。

【実施概要】

- ・日 時：令和4年6月12日 9:00～10:35
- ・参加者：羽越河川国道事務所、新潟県、村上市、村上市消防団、関川村、関川村消防団、胎内市、胎内市消防団等 約80人
- ・内 容：基礎技術(縄結び)、基本工法(土のう作り、積土のう工)の実戦訓練



積土のう工(関川村消防団)



土のう作り(村上市消防団)



縄結び<フナ結び>
(胎内市消防団)

荒川水防訓練実施状況(R4.6.12)

| | |
|------|---|
| 取組項目 | 洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施 |
| 内 容 | 【R4.6.12】荒川合同巡視の実施 |
| 実施主体 | 北陸地方整備局羽越河川国道事務所、新潟県村上地域振興局地域整備部 村上市、関川村、胎内市 |

羽越河川国道事務所、新潟県、村上市、関川村、胎内市と合同で荒川(国管理区間)の重要水防箇所と水防倉庫の合同巡視を行うとともに、荒川(国管理区間)の重要水防箇所の情報共有を実施。

【実施概要】

- ・日 時：令和4年6月12日 11:00～12:00
- ・参加者：羽越河川国道事務所、新潟県、村上市、村上市消防団、関川村、関川村消防団、胎内市
- ・内 容：① 重要水防箇所の確認(荒川を3班(左岸、右岸、関川)に分けて実施)
② 水防倉庫の資材確認・点検を実施



水防倉庫、重要水防箇所の点検状況(R4.6.12)

| | |
|------|---------------------------|
| 取組項目 | 小中学校等における水災害教育を実施 |
| 内 容 | 市村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。 |
| 実施主体 | 北陸地方整備局羽越河川国道事務所 |

羽越河川国道事務所では小中学校からの要請により、出前講座を実施した。

【実施概要】

- ・実施回数：令和4年度は3校延べ4回実施
- ・参加者：羽越河川国道事務所、保内小学校、平林小学校、金屋小学校
- ・内 容：荒川の概要と水害について



保内小学校



金屋小学校



平林小学校

| 実施日 | 学校名 |
|---------|--------------|
| R4.6.14 | 保内小学校(4年生) |
| R4.7.12 | 金屋小学校(1~3年生) |
| R4.9.22 | 平林小学校(4年生) |
| R4.9.22 | 保内小学校(4年生) |

| | |
|------|-----------------------------------|
| 取組項目 | 安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組 |
| 内 容 | 小中学校等における水災害教育を実施 |
| 実施主体 | 村上市 |

神林中学校1年生への防災出前講座を実施

【実施概要】

- ・日 時：令和4年9月21日、22日(3時間)
- ・参加者：神林中学校1年生 48名
- ・内 容：洪水・土砂災害から命を守るマイ・タイムライン



防災出前講座風景

| | |
|------|---------------------|
| 取組項目 | 地域住民等に対する防災講話、防災説明会 |
| 内 容 | 集落のニーズ、要望に応じて行う出前講座 |
| 実施主体 | 関川村総務課【防災】 |

村では集落等に対し要望、要請に基づく防災講話及び村自らの意思による防災説明会の開催を前年度より積極的に推進し地域住民の防災意識の高揚を図ることとしている。

【実施概要】

- ・実施回数： 今年度4回開催（5回目は中束集落を予定していたが8月豪雨災害の影響により中止とした。）
5月蔵田島集落、上川口集落 7月蛇喰集落、大石集落
- ・参加者： 講師 総務政策課防災専門員、傍聴者（参加者） 自治会、地域住民、消防団員等
- ・内容： ①洪水、土砂災害に関する防災情報、避難行動
②荒川(大石川等支川含む。)洪水ハザードマップ(令和3年5月改訂版)の見方・活用法



蔵田島集落



蛇喰集落



大石集落

| | |
|------|-------------------------------|
| 取組項目 | 要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組 |
| 内 容 | 小学校保護者向けに水害時の避難について説明 |
| 実施主体 | 胎内市、築地小学校PTA |

築地小学校保護者向けに、水害時の危険箇所や小学校から自宅までの避難について、ハザードマップの見方や普段からの備え等を講話。

【実施概要】

- ・日 時：令和4年11月18日(金) 16:00～17:00
- ・参加者：築地小学校長ほか教員、築地小学校保護者、築地区防災士(計約20名)
- ・内 容：① 防災ガイドマップ(水害ハザードマップ等)見方など防災講話
 ② 築地区域の避難路及び危険箇所等
 ③ その他



ハザードマップ等防災講話



地域の避難について説明

| | |
|------|-------------------------|
| 取組項目 | 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 |
| 内 容 | 黒川小学校4年生を対象に防災学習を実施 |
| 実施主体 | 胎内市、黒川小学校PTA |

黒川小学校PTA行事として、4年生を対象に、防災学習として、砂防学習(土石流模型)・地震体験(起震車)を実施。

【実施概要】

- ・日 時 : 令和4年9月9日(金) 10:30~12:00
- ・参加者 : 黒川小学校4年生(2クラス44名) 各クラスに別れ以下①②を交互に実施
- ・内 容 : ①砂防学習(飯豊山系砂防事務所)・・・25分
砂防事業について説明、土石流模型を使用し土石流の仕組みを説明
- ②地震体験(市:防災専門員)・・・25分
過去の地震について説明、起震車を使用した地震体験
- ・・・①②各終了後、5分程度質問コーナーその後、入れ替え同様に実施。



砂防学習(土石流模型)



地震体験(起震車)

| | |
|------|----------------------------------|
| 取組項目 | 効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 |
| 内 容 | 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報活動 |
| 実施主体 | 荒川水力電気(株) |

ダム放流による危害防止を図るため、警報内容について関川村広報誌へ掲載した。
 (また、ダム周辺地元へ「岩船ダム放流についてのお願い」チラシを配布した)

【実施概要】

- ・掲載日時：令和4年6月15日(広報せきかわ:お知らせ版)
- ・内 容：① ダム洪水吐ゲートから放流する時は、放流開始する10分前にサイレンやスピーカーを鳴らしてお知らせします。
 ② 放送後は、川の水が増えてくるので川からあがって安全な場所へ避難するようお願いします。
 ③ その他、サイレン吹鳴のパターンを表示。

2022年(令和4年) 6.15 1999年(平成11年)4.15(開刊)

発行/印刷所 関川村 電話/印刷所 関川村 電話/印刷所 関川村
 TEL: 0254-64-1476(直通) FAX: 0254-64-0079

お知らせ版

災害防止に備えて、岩船ダムでは放流を行います。降雨などで川の水が増えること予想された際、事前にダム洪水吐ゲートから放流を行い、大きな出水に備え、災害防止に努めています。

放流を開始する10分前に、サイレンやスピーカーを鳴らして、周辺の皆さまにお知らせします。放流後は川の水位が急速に増加しますので、すぐに川から離れて、安全な場所へ避難するようご協力をお願いします。

●警報内容
 約2分間サイレンを吹鳴
 「1分吹鳴・10秒休止・1分吹鳴」

●問い合わせ
 荒川水力電気(株)関川事業所
 番(64)2402

荒川水力電気株式会社から地域の皆様へ
 岩船ダム放流についてのお願い

地域の皆様方には日頃より、岩船ダムの放流について格段のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。荒川水力では、出水による災害防止を最優先課題として、発電所の運転やダムの操作にあたりております。岩船ダムでは、雨などで川の水が増え、発電所で使う水が多くなると、ダムのゲートを開けて放流を行います。ダムのゲートを開けて放流する場合には、沿岸の皆様にはサイレンやスピーカーを鳴らしてお知らせいたします。したがって、サイレンやスピーカーが鳴りましたら、川の水が増えますので、川から上がって安全なところに避難するようお願いいたします。水難事故防止のため、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

サイレン内容
 吹鳴 60秒 休止 10秒 吹鳴 60秒

スピーカー放送内容
 疑似音：「ビーポー、ビーポー、ビーポー」
 アナウンス：「こちらは、荒川水力電気株式会社 岩船ダムです。これから間もなく川の水が増えますので、危険ですからただちに川から上がって川岸から離れてください。」

10秒 40秒 10秒 40秒 10秒 40秒

連絡先
 荒川水力電気株式会社 関川事業所
 電話：0254 - 64 - 2402

ダム周辺地元への配布チラシ

| | |
|------|----------------------------------|
| 取組項目 | 効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 |
| 内 容 | 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報活動 |
| 実施主体 | 赤芝水力発電株式会社 |

ダム放流における水難防止を目的に、放流警報に関わる内容を関川村広報誌へ掲載。

【実施概要】

- ・掲載日：令和4年7月1日(広報せきかわ お知らせ版)
- ・内 容：① ダムゲート放流開始前の警報について
② ゲート放流後の河川増水への備えについて
③ サイレンの吹鳴パターンについて

関川村広報誌への掲載

7月は「社会を明るくする運動」強調月間・再犯防止啓発月間です

赤芝 広報

発行/新編者 関川村
編集/総編集 TEL.0254(64-1476) (直通)
FAX.0254(64-0079)

No.668
2022年(令和4年)
7.1
1989年(平成元年)4.15創刊

お知らせ版

災害防止のために
赤芝ダムで放流を行います

赤芝ダムでは、降雨などで川の水量が増える予想されるとき、事前にダムゲートから放流を行い、大きな出水に備え災害防止に努めています。

ダムゲートから放流を開始する10分前には、サイレンやスピーカー等で周辺の皆様にお知らせします。放流後は川の水量が急増しますので、すぐに川から上がって安全なところに避難するよう、ご協力をお願いします。

●警報内容
約2分間サイレンを吹鳴
「1分吹鳴・休止・1分吹鳴」

●問い合わせ
赤芝水力発電(株)赤芝発電所
☎0238(64)2061

| | |
|------|----------------------------------|
| 取組項目 | 効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 |
| 内 容 | 【R4.7.6】水難防止のチラシおよびポスター配布 |
| 実施主体 | 東北電力株式会社 |

水難防止のPRのため、自治体、学校、漁業共同組合(釣券販売個所含む)、旅館・ホテル(温泉組合含む)に、チラシならびにポスターを配布した。

【実施概要】

- ・日 時 : 令和4年7月6日
- ・配布先 : ①関川村役場(回覧板, キャンプ場, 学校など) チラシ960枚 ポスター8枚
 ②保育園 ポスター2枚
 ③関川村下関駐在所 ポスター1枚
 ④荒川漁業組合(釣券販売個所含む) チラシ250枚 ポスター5枚
 ⑤旅館・ホテル(温泉組合含む)・コンビニ チラシ520枚 ポスター19枚



水難防止チラシ



水難防止ポスター

| 配布箇所 | 配布状況 | | |
|---------------------|----------------|------|---|
| | チラシ | ポスター | |
| 関川村役場 | 総務課 総務班 | 330 | 0 |
| | 総務政策課 観光・地域政策室 | 250 | 4 |
| | 関川中学校 | 140 | 2 |
| 保育園 | 関川小学校 | 240 | 2 |
| | 下関保育園 | 0 | 1 |
| | 大島保育園 | 0 | 1 |
| 関川村下関駐在所 | 0 | 1 | |
| 荒川漁業共同組合(釣券販売個所含む) | 250 | 5 | |
| 旅館・ホテル(温泉組合含む)・コンビニ | 520 | 19 | |
| 計 | 1,730 | 35 | |

チラシ・ポスター配布状況